

実績のない海外ベンダー製品も柔軟に対応して評価 NTT-ATのセキュリティアプライアンス ベンチマークテストサービス (UTM性能比較)

ネットワークセキュリティ商品をはじめとする通信機器を多く取り扱う株式会社ワイズでは、国内未導入の海外メーカー製品を発掘し、OEMとして国内販売店ネットワークへの流通を精力的に行なっている。導入実績がない製品を自信を持って顧客に勧めるには、競合製品との比較検証に基づいた質の高いベンチマークテストによる裏付けが重要である。多くのベンチマークテストサービスの中からNTT-ATのサービスを選んだ決め手を、ビジネスパートナー営業部 ジェネラルマネージャーの井口弘一氏と、同営業部 プロダクトマネージャーの川田信人氏に伺った。



お客様プロフィール

株式会社ワイズ

ネットワークセキュリティ商品をはじめとする通信機器や業務系ソフトの企画・開発・販売から、OA機器やオフィス家具の販売まで多岐にわたり、特に日本経済の屋台骨である中小企業向けの商品開発、サービス運用に注力している。

創業	1995年4月5日
従業員数	120名 (2016年7月1日現在)
本社所在地	東京都千代田区神田須田町1-9 相鉄神田須田町ビル4F
公式HP	http://www.ys-net.ne.jp/



株式会社ワイズ
ビジネスパートナー営業部
ジェネラルマネージャー
井口 弘一氏



株式会社ワイズ
ビジネスパートナー営業部
プロダクトマネージャー
川田 信人氏

自社製品の客観的評価の重要性

まずはじめにビジネスパートナー営業部のジェネラルマネージャーである井口氏に、弊社との出会いの経緯について伺った。

「NTT-ATさんに初めてベンチマークテストサービスを依頼したのは3年ほど前になります。当社で取り扱っていたUTM*製品の性能評価をお願いしました。それがきっかけとなり、以降3世代に渡ってUTM製品の評価を継続的にお願いしています。それまでは7年近く内部で評価を行なっていましたが、その業務のアウトソーシングを検討し始めた際、依頼できる企業の心当たりがなく困っていたところ、前任者がネットで検索して見つけたのが、NTT-ATさんだったのです。」

従来は内部で行なっていた評価業務を、外部委託することになった理由は何だったのだろうか？

「内部だけで質の高い評価を行なうためには常に最新の検証機器類を用意しなければならず、さらに評価する技術者のスキルレベルを維持することも必要です。お客様により良い製品を迅速に提供していくためには、やはり専門的知識のある外部評価機関の力を借りる必要があるという判断に至りました。」

顧客視点のアプローチと きめ細やかなアウトプット

実際にNTT-ATとの業務を担当する、ビジネスパートナー営業部プロダクトマネージャーの川田氏に、NTT-ATと他社との印象について伺ってみた。「これは偏見という訳ではないのですが、実を言いますとNTT-ATさんと一緒に仕事をする前は、『研究者気質』や『お堅い』というイメージを勝手に持っていたのです。ところが実際に仕事をしてみると、業務のアウトプットは研究者気質のきめ細かいものでしたが、仕事の進め方は予想していたイメージに反して柔軟で、こちらの要望を取り入れ、それを実現するためのさまざまな提案をしてくれました。以前競合他社の評価項目メニューを調査しましたが、固定されたメニューを選択するだけだったのに加えて、値段が高かったために導入を断念しましたが、NTT-ATさんは最初にこちらの要望などを細かく聞いてくれた上で、新たに必要となる追加のメニューについても一緒に考えてくれたことには、正直言って驚きましたね。この顧客視点に立ったアプローチの仕方や、技術力に裏付けられた柔軟な提案力があるということが、他社とは大きく異なる点だと感じました。」

*UTM: Unified Threat Management=統合脅威管理

セキュリティプライアンス ベンチマークテストサービス (UTM性能比較) の導入事例 株式会社ワイズ

●株式会社ワイズ 公式サイト <http://www.ys-net.ne.jp/>



大きな信頼を得られ、私たちも自信を持ってお勧めすることができるのは大きなメリットです。」(川田氏)
「今後もさまざまな海外製品の取り扱いをしていく予定ですが、先にも述べたようにこれらを自社で評価するための設備と技術者を確保しておくことは、コストやスキルの両面から考えても

非常に難しいのです。その点、NTT-ATさんは検証機のラインナップが豊富で技術者のスキルも高い上に、日本語マニュアルがない製品にも対応して貰えるのは大変助かります。また、費用面で見てもサービス内容の充実度に見合っていると感じています。この価格でこのクオリティを実現できるのは、NTTグループ内で培った実績あってこそだと思いますね。」(井口氏)

「お墨付き」製品をさらに広めたい

最後に、ベンチマークテストサービスを活用した今後の展望と、弊社への要望について伺った。「現在はUTM製品をメインにお願いしていますが、今後は他分野の製品についても評価をお願いしたいと考えています。お客様へ当社製品をお勧めする際に、NTTグループ企業が評価した信頼性の高いものであるというポイントを強くアピールしていきたいので、将来的にはNTTグループ内での認証制度のような仕組みを作っていただけたら嬉しいです。」(井口氏)

株式会社ワイズとNTT-ATのパートナー関係は、今後もさらに強化されそうだ。

NTTグループで培った 信頼性の高い性能評価

では、実際にベンチマークテストサービスを利用した感想はどうだったのだろうか。
「通常は自社製品の現行機と新しい後継機、競合他社製品の3機種を比較して機能評価と性能評価を行ないます。どんな製品でもカタログスペックと実際の使用環境で測定した実測値は異なるものですが、この実測値を把握しておき、新製品と現行機、および他社製品との位置付けを認識しておくことは、販売戦略上で非常に重要です。販売先の中には自ら性能評価を行なう企業もあるため、こちらで事前に信憑性の高い実測値を持つておくことができれば、それを事前に伝えておくことで販売先で予想外の結果が出るということがなくなります。さらにNTTグループ企業が評価した製品ということは、どこの企業からも

非常に難しいのです。その点、NTT-ATさんは検証機のラインナップが豊富で技術者のスキルも高い上に、日本語マニュアルがない製品にも対応して貰えるのは大変助かります。また、費用面で見てもサービス内容の充実度に見合っていると感じています。この価格でこのクオリティを実現できるのは、NTTグループ内で培った実績あってこそだと思いますね。」(井口氏)

実績に基づく臨機応変な対応と 真摯なアドバイス

この3年間で、印象に残ったエピソードなどはあっただろうか。
「新製品の評価時に発生したトラブルの際に、前回の評価結果を踏まえて臨機応変な対応をしてもらえました。この3年で当社もNTT-ATさんも担当者が代わりましたが、情報の引継ぎがしっかりとされていたので、テ

※ 記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※ 記事内容および所属・役職は、2017年2月時点のものです。

商品お問い合わせセンター

TEL: 0120-057-601 E-mail: nse-center@ml.ntt-at.co.jp

お問い合わせ先

<http://www.ntt-at.co.jp/product/sec-benchmark/>

NTTアドバンステクノロジー株式会社

ICT総合検証センター
〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-19-18 武蔵野センタービル